

普及活動情勢報告（平成31年3月分）

高吾農業改良普及所

夏秋トマト生産部会総会が開催されました。



総会での講習

2月26日、JA高知県吾川支所にて夏秋トマト生産部会総会が開催され、部会4戸の農家が参加しました。今年度の栽培では高温による影響で着果不良や害虫による被害があり、普及所では、来年度の対策として高温対策技術や単為結果性品種、天敵の実証ほ場の試験結果報告に加え、定植前後の肥培管理について講習を行いました。生産者からは「新しい技術や情報を今後も教えてほしい」といった声がありました。

普及所では、来年度も定期的な現地巡回や栽培講習を行い、夏秋トマトの生産安定を支援していきます。

平成30年度第2回高吾地区農業改良普及推進協議会



平成最後の普及推進協議会

2月28日、高吾農業改良普及所で高吾地区農業改良普及推進協議会を開催し、協議会委員14名が参加しました。

普及所は今年度の取り組みや普及活動実績を説明し、協議会委員の共通テーマである「担い手の確保」について意見交換しました。

委員からは、「就農時に住宅確保が難しかった。対応策が必要。」「茶の後継者が孤立しない仕組みが必要。」等活発な意見が出されました。

普及所は、委員のご意見を次年度活動につなげていきます。

佐川町と大豊町の女性グループが交流しました。



「きらず餅づくり」での交流

3月5日、佐川町とかの集落活動センターで、佐川町生活改善グループ13名と、大豊地区農漁村女性グループ研究会6名が交流会を開催しました。普及所は、事前に役員と打ち合わせて資料を作成し、当日は、交流会の運営を支援しました。

佐川町のグループ員が、旬の食材を使った料理でもてなし、お互いの30年度活動実績書をもとに、意見交換をしました。郷土料理の伝承活動は共通のテーマで、活動内容を質問したり、料理の作り方を教え合うなど活発に交流しました。その後、郷土料理「きらず餅」の伝承人であるグループ員が、作り方を伝え、さらに交流が深まりました。

今後も普及所は、主体的なグループ活動を支援します。

ダイダイの安定生産のために ～(農) ヒューマンライフ土佐がせんだい講習会を開催～



意見を出し合いながら実践

2月20日、ヒューマンライフ土佐がダイダイのせんだい講習会を越知町で開催しました。講習会にはヒューマンライフが所管する各産地から生産者ら32名が参加しました。

当日は、普及員がせんだいの基本的な考え方の説明とせんだいを実演した後、成木で樹高が高い園地でのせんだいと樹齢が若く人の背丈程度の園地の条件が異なる園地で実習を行いました。参加者らはせんだい枝の選び方や樹形作りなど熱心に質問し、関心の高さがうかがえました。

普及所では、ヒューマンライフ土佐の薬用作物専門指導員と連携し、生産振興のため支援を継続していきます。